



安心とやすらぎをつなぐ京悠会広報誌

さくらの森

編集・発行元 社会福祉法人京悠会 〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458 TEL042-975-3300

“人が育つ”



メモをとりながら真剣に学ぶ



熱弁をふるう
埼玉医科大学国際医療センター
脳卒中内科 出口一郎 准教授



豊富な経験（症例など）を踏まえ、分かり易い説明に納得

“人を育てる”

学び、学び合う、人材教育に力を注ぐ京悠会

大好評の【高次脳機能障害】研修会でした。

7月21日（土）の午後、円野にて埼玉医科大学国際医療センター脳卒中内科の出口一郎先生を講師にお招きし、「高次脳機能障害」について、研修会を開催しました。

脳の障害は多岐にわたり、日々、介護現場ではトライ＆エラーを繰り返しながら、一人ひとりに対応したケアサービスを提供しています。複数の施設から、さまざまな質問や疑問を抱えて参加された介護従事者にとって、専門医師の講話や意見交換は、貴重な情報共有の場になったのではないのでしょうか。

今日も学んだ知識や経験を生かして奮闘しています。

共催：埼玉県身体障害者施設協議会、社会福祉法人京悠会

参加者：身体障害者施設職員、医療従事者、飯能市福祉施設職員、行政関係者

レンガ積み職人 3様の働く意識に学ぶ

～素っ気ない返答、仕事さえあればいい、歴史に残る仕事だ～

私たちは、どのような意識をもって働いているのだろうか。人は、それぞれの人生行路を経て、今日の姿がある。「円野」や「真和の森」で働く職員もまた、その道のプロとして文字通りの人材（財）なのだ。人それぞれに、人生の目的、目標をしっかりと見定め、介護の現場で働く姿は、職場の資産そのものなのだ。

目的、目標を持って人生を送ることの大事さはいまさら言うまでもないこと。そこで、多くの方々のご存知のイソップ寓話に登場する“レンガ積み職人”3人の考え方を改めて検証したい。

イソップ寓話に学ぶレンガ職人の生き方

ある旅人がレンガ積み職人に話しかけた時のやりとりから、働く目的なり、目標に関わるいくつかの教訓を学ぶことができる。

1人目のレンガ職人は言う。「見ればわかるだろう。レンガを積んでいるのさ」。何と素っ気ない返事だろうか。そこには、つまらない仕事を繰り返しているというニュアンスが伝わってくる。このような考え方では仕事が面白いはずがない。



2人目のレンガ職人は言う。「俺は、（大事な）基礎を作っているのだ。これが俺の仕事でね」。自分や家族を養っていくため、これが今の自分に課せられた仕事だという目標が読み取れるが、仕事さえあればいいという姿勢が見て取れる。

3人目、意欲的で理解し易い説明に納得

3人目のレンガ職人は言う。「歴史に残る偉大な聖堂をつくっているのだ」。そこには、多くの人々が祝福を受け、時に悲しみを拭き去る教会をつくるのだという意志が読み取れる。素晴らしいだろう—と言っている雰囲気伝わってくる。仕事を通して他人や社会に貢献しているという自負心が秘められていて、仕事に取り組む姿勢に感動すら湧いてくる。

介護の職場でも同じであろう。1人目のような仕事の取り組み姿勢では恥ずかしい。介護の現場では、常に目配り、気配り、足配りのできる、配慮ある働きがあって社会から評価されるのだ。京悠会に働く職員の皆さんの心意気に期待するばかりである。

社会的にも、人間的にも、介護の職場で多くの仲間の力を借りて働ける素晴らしさをどう表現すればいいのか、考えてみてほしいものだ。

評議員 飯田康夫

鳥は飛ばねばならぬ

鳥は飛ばねばならぬ
人は生きねばならぬ
怒涛の海を
飛びゆく鳥のように
混沌の世を
生きねばならぬ
鳥は本能的に
暗黒を突破すれば
光明の島に着くことを
知っている

そのように人も
一寸先は
闇ではなく
光であることを
知らねばならぬ
新しい年を迎えた日の朝
わたしに与えられた命題
鳥は飛ばねばならぬ
人は生きねばならぬ



施設における看取りケア教室

～2時限目～

「人生の最終段階における医療」 という言葉をご存知でしょうか

これまでは「終末期医療」と言われてきましたが、平成30年3月、厚生労働省においてこの言葉に変更されました。「最後まで人間の尊厳を尊重した、その人に相対した生き方に着目した医療を目指すことが重要である」という考えがもとになっています。

「人生の最終段階」を迎えた入所者様に医療行為が必要となった時、入所者様の容態と医師や医療従事者から情報提供と説明がなされ、それに基づいて、その方にとっての最善の医療とケアは、どのようなことなのか判断が求められます。

繰り返しの話し合いが重要

また、医療そのものを必要とするかどうかの判断を利用者ご本人が判断することが原則ですが、ご本人の意思が確認できない場合は、その方のこれまでの人生観や価値観、どのような生き方を望まれるかをご家族が推定し、医師や医療従事者、ケアをするスタッフと共に話し合いながら、判断する必要があります。



心身の状態は日々変化します。意思も日々変化するものですが、日頃から、人生の最終段階において（医療が必要となった場合）、どのような生き方を望まれるのか、利用者本人はもちろんのこと、ご家族の間でも繰り返し話し合っておくことが重要だと思われま

施設における最期を — 心を込めて

当施設においても、その都度話し合いをさせていただきます。

施設において苦痛のない自然な状態で最期を迎えたいとご希望の方には、心をこめてその人に相応しい対応をさせていただきます。

真和の森では、29年度、18人の方をご家族様とともに見送らせて頂きました。

お一人お一人それぞれにドラマがあり、職員としても大変勉強になることが多く、今後に活かしていきたいと思っています。

特別養護老人ホーム 真和の森
副施設長 望月佐紀子

真和の森 イベント



嬉しくて思わずバンザイ



それ！みんなで盆踊り



懐かしのかき氷



鉢巻まきこころ締め

納涼祭！はいちーず



語り合い、笑いっぱい楽しい雰囲気醸し出された納涼祭

敬老の日を迎え お祝いをしました！



素敵な笑顔
卒寿を迎えました

- 上寿（大正8年生まれ）1名
- 白寿（大正9年生まれ）1名
- 卒寿（昭和4年生まれ）6名
- 米寿（昭和6年生まれ）8名



歌声が心に沁みます♪



みなさん、お元気に穏やかに過ごされています。
ご長寿の秘訣は？

楽しく、明るく、規則正しく、よく食べ、よく寝て、よく笑う！



ご家族による
バイオリン&ピアノ
リサイタル♪



麗しの調べ ♪ みなさん、うっとり



職員紹介



◆質問◆

- ① 仕事内容
- ② やりがいを感じる時
- ③ 思い出に残るエピソード
- ④ 好きな言葉
- ⑤ あなたの自慢できる事

茂山 歩 (しげやま あゆむ)
介護課 チーム長



《円野と地域を守る消防団員！》

- ① 入所者様の身の回りの手助けを行っています
- ② 利用者様の笑顔を見たとき
- ③ 円野秋祭りで行った盆踊り
- ④ 笑顔
- ⑤ 皆様を笑顔にできます地域との繋がりを大切に元気一杯働いています



吉野 楓 (よしの かえで)
介護課 チーム長



《♪見た目はおっとり、中身はしっかり♪》

- ① 日常生活の支援
食事・排泄・入浴等
- ② 信頼関係が築けたとき
- ③ 皆で協力し合って水くみをしたこと
- ④ “前向き”
- ⑤ とにかく健康！



円野



真和の森

塩野 紀代美 (しおの きよみ)
正看護師



《☆クレイジーキルトにはまっています☆》

- ① 看護業務・勤務表作成・内服薬管理
- ② 利用者様・ご家族様から感謝の言葉を頂いたとき
- ③ ご家族様に見守られて穏やかで苦痛のない“看取り”を経験したこと
- ④ “なんとかなる”
- ⑤ 自衛隊の看護学校で装甲車や輸送機に乗り、野営をしたり普通では体験できない経験をしたこと。さらには今でもその仲間と年に1回日本の各地で宴会ができること



追田 真由美 (おいた まゆみ)
正看護師



《♪いつも笑顔いっぱい♪》

- ① 看護業務など健康管理全般
- ② ご利用者様の笑顔が見られたとき
- ③ 吹雪の中でご利用者様宅へ訪問看護のサービスをしたとき
- ④ “手あて”
- ⑤ ご利用者様との会話を通じて、自分自身を育てることができ“引き出し”をいっぱいにしてきたこと

新しい主治医の西井先生です！



西井貴誠（にしい たかせい）先生

所沢市にある並木病院の常勤医師として、内科・神経内科をご担当されています。またアロマを使用した治療にも取り組まれており、アロマセラピー講習会なども実施されています。

当施設では毎週金曜日15時に回診にいらしていただいています。就任後早速に、利用者様の健康管理だけでなく、ご本人やご家族様への丁寧な病状説明、医療機関との連携、職員への指導等、多岐にわたり、親身になってご尽力いただいております。



ごあいさつ

自分が一番楽しいと思える場所、生きていって思える場所こそが、この世の樂園といえるのかもしれませんが。人にとって一番辛いことは、自分が誰からも必要とされないと感じること。こんなに悲しく切ないこと、人は生きる気力さえ失っていくものです。

家庭から愛は育まれ、成長します。第二の家庭として、真和の森にて過ごす時間。私は往診という形でかかわらせていただきますが、共に過ごすひと時、お互い笑顔で居られるよう、たくさんの愛情を注がせていただきます。どうか、よろしくお付き合いください。

西井 貴誠

今後のスケジュール

◆ 円野 ◆

行事

- 11月10日 身障協作品展
- 11月11日 音楽コンサート
- 12月 8日 忘年会
- 1月 お正月

職員研修

毎月 基本ケアの振り返り



◆ 真和の森 ◆

行事

- 11月17日 真和の森秋まつり
- 12月19日 クリスマス会
- 1月 初詣

職員研修

- 11月 認知症ケア
- 12月 リスクマネジメント
- 1月 アンガーマネジメント

編集後記

社会福祉法人京悠会の広報誌第3号を皆様のお手元にお届けします。続けて読まれている方々により親しまれ読みやすくするために多くの方々からご指導を頂き、工夫をして編集・校正に取り組みました。今後も皆様にわかりやすい広報誌をお届けできればと思います。

今号では「看取りケアの第2時限」の中で、人生の最終段階の様々な方向からの想いや考えが提案されています。職員がご利用者様の最期を自然に、そして穏やかにご家族様と一緒に迎えられるかは、職員としても大きな課題の一つです。日々勉強に取り組み、ご利用者様からはもちろん、ご家族様からも「この施設で良かった」と思っただけのよう頑張っていきたいと思っております。

広報委員：K.O

障害者支援施設 円野

〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458
TEL042-975-3300 FAX042-975-3311
最寄り駅：高麗川駅（八高線）

特別養護老人ホーム 真和の森

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1206-1
TEL042-990-1133 FAX042-990-1144
最寄り駅：新所沢駅（西武新宿線）

真和の森

秋まつり

日頃より当施設の運営に、ご理解ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。
今年も恒例の秋祭りを開催し、地域の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思います。
是非お気軽にご参加ください。

開催日

平成30年11月17日(土)

雨天
決行

時間

11:00~14:00

場所

特別養護老人ホーム真和の森 駐車スペース



芋汁



炭火焼きさんま

栗ごはん



さんま+芋汁+栗ごはん⇒3点セット ¥500円
200食限定！！

定番料理
チヂミ！



※別料金
先着100枚のみの販売となります。

☆楽しみ出店もあります☆

- 福祉用具展示(雨天中止)
- 福祉・介護相談会会場設置
- ♪その他当日のお楽しみ♪

注意！！ 調理品のお持ち帰りはできません。

●お問い合わせ先●

社会福祉法人 京悠会
特別養護老人ホーム 真和の森
TEL 04-2990-1133

【地図】

